



第 160 回 例会登山・氷ノ山
中国駐在体験記（居谷千春講師）講演会報告

氷ノ山例会の前日、2年半にわたり上海に駐在された居谷さんから"合歓の木"山荘で豊富なスライドを基に体験談をしてもらいました。翌日に例会登山(氷ノ山)を控えており時間の制約がありましたので、語りたりなかったこと、聞きたりなかった点はありましたが、大変有意義なものでした。本講演は昨年 11 月初め、故緒方俊治さんと小生が居谷さんの苦勞話を聞いた折に計画したものでした。講演の後、是非またの機会をと願っております。有難うございました。



ねむの木山荘に集まった例会参加者一同 2013年3月1日

- (1) 日時・場所；3月1日 PM；3時から8時。鉢伏；合歓の木山荘。
- (2) 参加者；金井健二、高田誠、田中信行、橋本昭、高田和三、井上達男、和光広展、横山公子、井和丸隆、井和丸洋子。山学部現役4名（坂本論、松村健司、山本浩輔、吉澤賢）。小谷辰雄、金井良碩（遅れて参加）。
- (3) 講演内容
 - * 故緒方俊治さんへの黙祷のあと、現役諸君他の自己紹介。
 - * 音楽入り・手作りの「スライド」の下、中国の歴史、文化、現状を語ってもらった。
 - * 特に、中国の現状を「熱っぽく語る」講師と、中国通を自認する井上達男さんの遣り取りは興味深いものでありました。



- * チャイナパワーが何処まで続くか？ わが国がどのように付き合ったらよいのか？
興味が尽きませんが、時間切れで終わりました。
 - * 居谷さんの話は体験に基く話だけに「貴重なもの」でした。感謝します。
- (4) その他
- * 現役諸君が「レンタカー」で4人参加してくれました、我々の熱っぽい対話に「何かを感じて」くれたはずです。井和丸御夫妻、横山公子様（故横山千秋先生夫人）の参加にも感謝いたします。小屋主の誠さん、サブの橋本さんのご尽力、有難うございました。
 - * 居谷講師が「講演会準備疲れ」と3年の「ブランク」のためでしょうか、本隊（OB4人、現役4人）から離脱し、重いリュックとワッパまで持って、オーソドックスなスキースタイルで、2日昼過ぎに“合歓の木”へ帰って来ました。お陰様で昨日の続きを聞くとともに、タップリ緒方俊治さんを偲ぶことが出来ました。

(高田和三記)